

2020/09/13

つまようじでコツコツと日本の城を造り上げる



[高柳智雄さん](#)

つまようじでコツコツと日本の城を造り上げる高柳智雄さん（74）。浜松市中区在住。

マルカワの蔵（浜松市天竜区二俣町）という、酒屋の蔵を改装したギャラリーで、作品を見せていただきました。

高柳さんは、金型製造会社の経営を退いた後、独学でつまようじアートを始めました。

まず、古地図やGoogleマップなどの航空写真で確認し、現地を訪ねて精緻な設計図を作ります。そして、爪楊枝を一つ一つ接着しては、コツコツと仕上げていきます。難しいのは、屋根の反り具合など。ヘアピンを使って一本一本曲げて並べます。

ギャラリーでは、姫路城、彦根城、松本城、松江城、犬山城、伊賀上野城、浜松城などが展示されていました。一つの制作には、つまようじが約1万本、制作には半年から1年かかることもあるといいます。

今後は、山城なども作ってみたいし、いま関心があるのは、城跡しか残っていない袋井市の久野城と言われました。

問合せ マルカワの蔵 090（7303）5263

取材：浜松北部地区担当 生きがい特派員 池谷 啓

